

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'98
夏季

号【7、8月合併号】

かわさき市民アカデミー
21講座十αの聴講生募集

8月24日から受け付け



いまを話す

川崎市健康福祉局介護保険準備担当主幹
磯野 利男 さん
介護保険は高齢者主体の福祉制度
市施策加え多様なニーズに対応

Stage Up 夏季 号もくじ/1998年

- ほんねインタビュー いまを話す
川崎市健康福祉局介護保険準備担当主幹 磯野 利男さん
介護保険は高齢者主体の福祉制度
市施策加え多様なニーズに
4
- はりきってます グループ紹介
ヨガで健康分かち合う
サルビア会 (宮前区)
10
- 学習・文化情報
聴力障害者との共生めざす
手話サークルわかば (川崎区)
12
- ◆ ゆりがおか児童合唱団演奏会
13
- ◆ 川響定期演奏会
14
- 編集後記
15
- ◇ かわさき市民アカデミー聴講生の講座一覧
裏表紙
- ◇ 表紙絵……麻生区山口台に咲く酔芙蓉ずいふうよう
清水幹子さん

(小誌は再生紙を使用しています)



世界的チェンバリスト
曾根 麻矢子

9・26 ふるさと川崎で初演

9月26日(土) 午後3時開演

川崎能楽堂 (川崎駅下車)

全自由席 3,500円

7月16日(木)
10時から
前売り

曲目 バッハ「チェンバロ・コンチェルト」
スカルラッチェ「ファンダンゴ」他

世界のマヤコが「ステージ・アップ」に登場したのは3年前。
パリを中心に古楽器演奏の新たな魅力と新たなクラシックファンを創出しつづけてきた曾根麻矢子。
待望の川崎における初演奏会！

■問い合わせは ☎ (222) 8821 の市文化財団

●川崎市共催 ●市教委後援

21講座+αで感性と知性を磨きませんか

かわさき市民アカデミーの聴講生募集

8月24日(月)から受け付け開始

かわさき市民アカデミーは、8月24日から聴講生を募集します。市民の多様なニーズにお応えする昼間の21講座と夜間の6講座を開設します。知る喜びと学ぶ楽しさを味わってみませんか。

- 聴講できる講座 21講座と夜間の6講座
- 募集定員 各講座とも10~30人。定員を超えた場合は抽選
- 聴講料 1講座7千5百円 (No.7「川崎の自然観察~秋冬編」は1万5千円、No.16「生活福祉の展開」は5千円)
- 申し込み方法 はがきまたは電話(9時から17時、日曜を除く)で申し込む。はがきの場合は受講希望講座名、氏名、住所、電話番号を明記
- 応募期間 8月24日(月)~9月5日(土)まで当日消印有効
- 申し込み先 〒211-0004川崎市中原区新丸子東3の473の2 中小企業・婦人会館内、市生涯学習振興事業団学習事業室、アカデミー事務局

◆21講座の一覧表は裏表紙にあります。夜間の講座は案内パンフレットでお知らせします。
案内パンフレットは8月中旬から各区役所・市民館・図書館、生涯学習振興事業団などで配布

◆問い合わせ・申し込みは☎044(422)3932のかわさき市民アカデミー事務局

ミニニュース

野花に愛にじませ

多摩区で田村あや個展

「田村あや野の花を描く」展が5月下旬に画廊ランブ屋(稲田堤駅近く)であり、訪れた市民は、どくだみ、ふきのとう、菊咲き一輪草、ひまわりなど30点の草花の絵を楽しみながらゆっくりと鑑賞した。

紅葉した葉に赤い実をつけた「がまずみ」は、葉に虫が食べた穴まで再現され、モチーフの美しさを際立たせ、虫が葉を食べている様子想像させる。

田村さんの作品展示は、川崎では1年半ぶり。「野の花への愛がにじみ出ている作風に加え、タッチにインパクトがでたみたい」「葉を微妙にぼかす色彩もすてき」と話す主婦たちも

小誌の表紙絵に田村さんの作品が載ったのは、93年と94年で計7回。女性読者の爆発的な支持があり「絵を切り取り、部屋に飾って四季の移り変わりを楽しん

でいます」との感想が編集チームに寄せられた(Y)。

国際的なレベルの青年音楽家の競演

第6回「スパシーバ・コンサート」が5月上旬、調布市文化会館「たづくり」であり、大学生ら青年音楽家13人が国際的レベルのヴァイオリン、チェロ、ピアノの音色を響かせた。

メンバーの一人、丸山朋文さんは、麻生区在住の東京芸大1年で、小誌94年12月号「いまを話す」のゲスト。ベートーヴェン「チェロソナタ第3番 第2、3楽章」を演奏した。丸山さんは、可愛い旋律を奏でるときはほほ笑むように、激しいリズムになると、足を床に踏ん張り弓の手元の近くを使って音量のある音色を響かす。丸山さんのチェロと対話するように中島彩さんのピアノが同じ旋律を受け継ぐ。

出演者は5年前「モスクワ・コンセルバトリア・マスターコース・イン・ジャパン」が開かれた際、全国公募で決まった人達(Y)。

いまを話す

ゲスト

川崎市健康福祉局長寿社会部
介護保険準備担当主幹

磯野 利男 さん

Vol.66



介護保険

高齢者主体の福祉制度
市施策加え多様なニーズに対応

介護保険制度は施行まで二年を切った。賛否両論のままだ。川崎市健康福祉局の磯野利男・介護保険準備担当主幹は「これまでの高齢者福祉の主体は行政。二一世紀の高齢者介護システムの新たな構築をめざす介護保険は、高齢者主体の制度」と断言する。その背景に、保健・福祉の基本サービスの介護保険と、市が掲げる「二十四時間三百六十五日型介護支援システム」の目標に基づく多様なサービスとの協働によって「高齢者ニーズに応じた福祉の提供」の展望がある。だが多様なサービスの実現も、介護保険の課題の解決もこれからが正念場。「内実ある福祉社会の形成」の道程は険しく、地方自治の真価が問われ兼ねない。インタビュアーは富樫恭子さん。

——川崎市の健康福祉局と聞いてただで「市民のいのちと暮らしを守ってくれるポジション」とのイメージが広がりますね。

磯野さん そう言っていただけると、うれしくなります。

——その局の長寿社会部の介護保険準備担当の職員の方は何人いるのですか。

磯野さん 昨年は三人でしたが、今年四月から十七人体制で介護保険の準備にあたっています。

——介護保険制度が二〇〇〇(平成十二)年度に施行されます。

それに備えての拡充ですね。みなさん福祉・医療を専門の方ですか。

磯野さん 事務職や保健婦さんなどです。それぞれの立場で専門性を発揮しています。

——伊藤三郎・前市政から高橋清・現市政を通して、市政の基本は「まちづくりと福祉を車の両輪にして」と理解していますが。

磯野さん そのとおりです。川崎市は前市長のときから「市民生活最優先」を市政運営の基本に据え、高橋市長のもとで一九九三年に基本計画「川崎新時代2010プラン」を策定しました。その中に「生涯福祉都市づくり」との基本理念があります。二一世紀を展望して、内実ある福祉社会の形成を目ざして、今日まで着実に施策をすすめています。

——その具体的内容は……。

磯野さん 施策の前提は「人間の尊厳、人権の確保」です。昨年七月、市は「福祉のまちづくり条例」を制定しました。障害を持つ方や高齢者が、住み慣れた地域で安心して自由に行動でき、快適な生活が続けられるよう、ノーマライゼーション(標準化、常態化、正常化)の理念に裏付けられた人

高齢者保健福祉計画で100%達成 ホームヘルプと訪問看護



共生する地域へ。ゆりがおか児童合唱団
の歌声を聴くお年寄り（麻生区の金井原苑で）

間の権利を保障する条例です。

—— 昨年の「ステージ・アップ」
夏季号で、高橋市長は「川崎では
遠慮なく年を取っていただけです」
と、心強い発言をされました。実
際、介護を必要とする高齢者の方
にとって、川崎市の住み心地はど

うなのでしょう。

磯野さん 福祉の水準を測る指
標の一つに「サービスの量」があ
ります。整備目標を定め、その達
成度、進捗率で評価する方法です。
市は平成五（九三）年、「高齢者
保健福祉計画」を策定し、来年が

その達成年度です。ホームヘルプ
サービスと訪問看護事業は一〇〇
%達成▽特別養護老人ホームは二
十五カ所の建設計画で、二十三カ
所九二%達成▽デイサービスは目
標六十四カ所で、四十一カ所六四
・一%達成▽ショートステイは目
標三百四十四床で、三百十九床九
二・七%達成（いずれも見込みを
含む）になります。

—— 高齢者福祉の質のほうは。

磯野さん 福祉の水準は量・質
に加えタイムリーさも重要です。
市民が必要とするサービスをタイ
ムリーに提供していけるかです。
川崎市は、お年寄りが住み慣れた
地域で暮らせるよう「在宅生活の
ための目標」である「二十四時間、
三百六十五日型介護支援システム」
という目標を持っています。

—— 具体化の程度は……。

磯野さん 主力のホームヘルプ
サービスは、平日だけでなく日曜、
祭日、早朝、深夜と二十四時間供
給態勢の整備に取り組んでいます。
巡回型ホームヘルプサービスは、
八年度から試行的に幸、宮前両区
で計四十人に実施してきましたが
大変喜ばれています。この全市的
実施は来年度になる見込みです。

滞在型ホームヘルプサービスも今
年五月から全市で日曜・祝祭日派
遣やスポット（緊急一時）派遣を
実施しています。

—— その他にメニューは。

磯野さん 一人暮らし・寝たき
り・痴呆性の高齢者が住み慣れた
地域でいつまでも生活出来るよう
「見守りネットワーク」がありま
す。これは保健・医療・福祉の関
係団体だけでなく、地域のボラン
ティアも加わり、チームを組んで
支え合い・助け合うものです。

—— その「見守りネットワーク」
はいつごろから……。

磯野さん 平成九（九七）年度
から、中学校区単位で町内会や各
種団体と子どもがネットワークづ
くりの話し合いを進め、この夏、
市内三カ所で立ち上げます。地域
の善意の芽を大切に、福祉の
風土が育つことを期待しています。
—— 今後、急ピッチで整備され
るといふことですね。

磯野さん はい。さらに、高齢
者が家庭にいて特養ホームと同じ
サービスが受けられる「在宅支援
トータルサービス」があります。
—— 「家族と生活したい」お年
寄りの本心に応える施策ですね。

24時間巡回型 ホームヘルプ 全市で実施へ

介護の人材養成 一抹の不安も

磯野さん これらホームヘルプサービスや食事の支援、入浴サービスなどを組み合わせるケアです。また、特養ホーム入所者に質の高いサービスを、市が単独で運営費の助成をしています。

——在宅支援トータルサービスのこれまでの実績は。

磯野さん 今年度の対象人員は、川崎区三十人、幸・高津・宮前の各区が二十人ずつの計九十人です。ホームヘルパーが、一日数回訪れて、おむつの交換や体位の移動をしたり、食事や入浴・掃除・洗濯のサービスはケアプランを作り決めていきます。二十四時間巡回型で、安全確認の目的も達成できます。

——高齢社会が急ピッチで進みますと、ヘルパーの役割がより重要になります。その人材養成は。

磯野さん 平成七(九七)年度から「市民総ホームヘルパー大作戦」を開始し、十二年度までに一万三千人の介護人材を養成する計

画で、修了者は六千五百人、五〇%達成です。ヘルパーの仕事の形態は、常勤のコーディネーターが登録ヘルパーの方にお願する形です。主任ヘルパーを中心に約四



十人がチームを組み、状況に応じて対応する「チーム運営方式」も導入しています。この他、市の特色ある施策として、障害者や高齢者の権利を擁護するための人権の相談や財産の保全・管理などのサービスを実施しています。さらに今年の施策に「生涯現役大作戦」があります。七十五歳未満の若年高齢者のパワーアップを目指し、アンケートをした結果、そのうち

九割が「健康」と記しています。若年高齢者が生涯現役で生活するための多方面にわたる社会参加が大変重要です。そのための仕組みづくりを検討しています。

——豊富なメニューですね。

磯野さん はい。二〇〇〇年度の介護保険法施行をにらみ、要介護の方に対する基盤・政策整備を進める一方、健康な方には予防を含めた対策を進める施策を両輪として、量・質・タイムリーさの高水準な高齢者福祉の展開をめざしています。

——来年の秋ごろから、介護保険制度の要介護認定の申請申し込みが始まりますが、市はこの制度をどう評価されているのですか。

磯野さん 介護保険制度は、二一世紀の高齢社会を展望した高齢者介護システムの新たな構築といえます。この制度の特徴は介護の社会化を図る、介護を家庭や家族にのみゆだねるのではなく、社会全体の支援、仕組みの中でみていくことの考えです。言い換えると、教育や医療と同じように普遍化を図るのが目標です。今までは「高齢者は社会的弱者」というイメージが強かったのですが、介護保険

制度によって、高齢者自らがこの制度に参加する自立した力強いイメージ像になると思います。

——どういうことですか。

磯野さん これまでの高齢者福祉の主体は行政で、行政がサービスをコーディネートして提供する形です。介護保険制度は、高齢者自らがサービスを選択するので、主体が高齢者です。このことは評価していると思います。

——本当にそうなるのでしょうか。「介護保険制度のネライは介護の社会化」を実現するためにも、特別養護老人ホームの拡充は不可

磯野 利男 さん

いその・としお=1950年中原区生まれ。中央大学商学部卒。73年、川崎市に入庁。これまでに生活保護や障害福祉、老人福祉、同和対策事業に携わる。97年、健康福祉局長寿社会部計画推進課主幹。今年4月から同部介護保健準備担当主幹になり現在に至る。市民説明会では「分かりやすいソフトな話し方」との評も。趣味はゴルフ、盆栽。妻、2男1女の5人暮らし。

ム定員数が高齢者人口に占める割合は〇・六六%です。それが今年度は、約十三万八千人、千五百五十八人(二十三カ所)、一・二二%です。

——バブル経済がはじけ、財政事情が厳しいことを勘案すると、着実な施策の実施ですが、待機者



(市健康福祉局提供)

欠です。平成三(九〇)年度と今年度の高齢者人口、特養ホーム総定員数、高齢者人口の中に占める特養ホーム総定員数の率は。

磯野さん 三年度の高齢者人口は約九万二千人、特養ホーム定員は六百八人(九カ所)、特養ホー

はどのくらいいるのですか。

磯野さん 特養ホームへ入所を申請している方は、千七百七十九人(昨年十月現在)です。

——二〇一〇年のそれぞれの推計はどうなりますか。

磯野さん 二〇一〇年の推計で高齢者人口は二十三万九千人、特養ホームの定員は国の新ゴールドプランに基づく高齢者人口の一・一%の推計率に単純にあてはめますと二千六百二十九人になります。

——今後十二年間に特養ホーム(定員六十人)十七カ所の建設を前提に、高齢者人口の一・一%の特養ホームが確保できると。それはこれまでの実績からも実現が大変難しく、また、推計必要数が建設されたとしても、待機者が相当数いることになりませんか。

磯野さん 今までの措置制度という仕組みを変え、分権型福祉とどうか各自自治体の特性が制度の中に反映されます。先にお話しした施策を含め、高齢者ニーズにお応えできる多様なメニューを用意することが大事と考えています。

——ところで「ステージ・アップ」三月号で、介護保険制度を取り上げました。「問題点が分かっ

富樫恭子さん



た。改善させる取り組みが大切」と、大きな反響がありました。ごく少数の方から「お年寄りに無用の不安を与える」との非難も。磯野さんの率直なご感想は。

磯野さん ゲストの岸田孝史さんは特養ホームの事務長。第一線で活躍されている専門家の立場から、制度に対する課題などをお話になられたと思います。この制度が、これまでの福祉制度の大きな転換を図るものですから課題はあると思います。三月に介護保険のシンポジウムを開き、参加市民四百人にアンケートをしましたが、多くの方が制度にいろいろな思いを持っていました。これは行政の

介護は社会全体で……

課題でもあるのですが「よく知られていない。十分理解されていない」こともあって当然の反応です。

——介護保険制度スタートまで二年。たくさん論議の場をつくり、疑問に答えるべきと思いますが。

磯野さん 介護保険制度をすすめる立場として、そのご提案を積極的に受け止めます。ただ、市民の中に介護保険制度イコール高齢者福祉制度総体との誤解があります。絶対にはずすではありません。

——といいますと。

磯野さん 介護保険における保険給付のサービスは、保健とか福祉の基本サービス、限られたサービスなのです。これだけで高齢者介護システムは完結しません。これに川崎市の単独事業、たとえば施設における入浴、配食サービス、移送サービス、地域におけるボランティア、見守りネットワーク、生きがい、住環境の問題、さらに在宅医療との連携。こうした仕組みの中で、総合的な高齢者支援システムができるのです。

——介護保険制度は、高齢者福祉の一部にすぎないと。

磯野さん 保険内のサービスとそれを補完するサービスの協働が重要になります。介護保険制度が導入されると、これまでの福祉の理念がどこかへいってしまおうと危ぶむ方もおられます。しかし、老人福祉の根本理念の「高齢者の尊厳を守る」は、決して変わるものではありません。

——介護保険を利用するには、市町村の窓口で申請をして、要介護認定を受ける必要がありますが、その際の訪問調査に問題はありますか。

磯野さん 川崎市は、多摩区で要介護認定のモデル事業をして問題点を整理しました。調査員が家庭を訪問し、七十三項目ある調査票で、どの程度の介護が必要かをチェックします。それをコンピュータ



ータにかけ一次判定とします。審査会（五、六人で構成）でこの要介護度と、調査員が調査項目では表せない特記事項、それにかかりつけの医師の意見書を加えて検討して二次判定を行います。

——調査員にはどういう方が。磯野さん 行政の職員とケアマネージャーの組み合わせた形になると思います。

——申請者数の見通しは。磯野さん 平成十二（二〇〇〇）

要介護認定 調査の課題

「高齢者の尊厳を守る」は不変 生活環境が対象外

かったり……。痴呆性の方は、半年間の状況をご家族から聞くようにしましたが、それでも正確な把握はむずかしいということです。

——調査項目は、要介護者本人のものだけで、家族構成、経済的状況などの生活環境、生活状況が調査の対象外になりますね。磯野さんも要介護者の生活状況への配慮は必要ないとお考えですか。

磯野さん それもこの制度の課題として受け止めています。要

年度、一万五千人から一万八千人の申請を見込んでおり、百人の調査員が必要と考えています。

——調査員の質のばらつきを防ぐための教育は。磯野さん 定期的な研修などで対応します。

——多摩区のモデル事業での問題は何ですか。磯野さん 痴呆性の方は、日によって状態に波があり、元氣よく答えても質問内容が分かっている

介護認定は全国統一が基本です。川崎独自の方法を取り入れることは保険制度の枠内では無理で認定の後、ケアプランを立てるとき、配慮をすることになると思います。

——現在は、痴呆性老人が特別養護老人ホームへ入所の順番が近付くと、特養ホームの複数の職員が入所希望者の心身状態だけでなく生活状態も把握するよう心掛けているそうです。ところが、介護保険制度では訪問調査員が一人。

生活状態についての調査項目はゼロ。今より後退では……。磯野さん 痴呆性の方の認定については、複数の調査員のことも含め、県を通して国に要望しています。



——緑陽苑の岸田さんが、介護保険になると、デイサービスが利用人数による出来高収入になり、職員を半分にするか、利用者数を倍にしないと経営が成り立たないと述べていますが。

磯野さん 運営の効率という点もあります。私も十年ほど前、特養ホームとかデイサービスを担当して、運営方法を検討したことがあります。お年寄りには送迎バスに乗って外に出るだけでも楽しいです。特養ホームに行けば、必ず「来たの」と手を握って下さる。心のケアがいかに大事であるか、よく分かっています。心のやすら

よく分かっています。心のやすら

ぎといった点では、職員自身の意識、技術を高めることが求められると思います。

——現在は、特養ホームの職員数が、川崎市の委託を受けて国の基準を上回り、入所者の心のケアが十分なされていますが、介護保険制度施行後は、職員の意識の改革を期待して委託費をカットすることになるのですか。



磯野さん 昨年九月から、われ

われ行政の側と特養ホームを営む社会福祉法人の方々が研究チームを作って、デイサービスの問題、特養の要介護度別報酬の処遇内容について検討しています。ま

ホーム職員の意識高め 心のケアを大事にして

た、現行では社会福祉事業法や老人福祉法によって、法人が経営努力をしようとしても、枠があつてなかなか出来ない仕組みになっています。今後、どういう形で規制緩和されるのかによつても市の対応が変わってくると思います。

——心のケアの点では、ホームヘルパーの仕事も同じですが。

磯野さん 今までは、訪問して掃除をして食事のお世話をして、話し相手になって三時間かかった場合は、三時間分の費用が出たのです。介護保険法では、パッケージの形になります。たとえば「掃除、食事のお世話は一時間」との規則になりますと、実際に二時間かかっても支払われるのは事業費補助方式で一時間分しか出ない設定になります。しかし、この件は大変重要な点ですので今後の課題として検討したいと考えています。

——介護保険法が施行されても川崎市が独自でフォローすると知



り安心しました。さて「介護保険法は弱者により厳しい」との指摘もあります。特養ホーム入所者の中には五万円の少ない年金で生活している方がいます。超低所得者にも保険料の支払いが義務付けられ、未納、滞納への罰則、給付制限があるのですが……。

磯野さん 現在の本人負担は、毎月三万から三万五千円です。介護保険法では、食費と基準額の分割負担ですから基本的には五万二千円になります。また、保険料が平均二千五百円ですと、二千円弱徴収されます。

——これは大変なことですよ。

磯野さん ですから、所得の低い方への施策が重要です。国の方では保険料の軽減や高額介護サービスの限度額を下げる方法を検討しています。また、食費の負担は一日、約七百六十円ですがそれも

下げる。さらに生活保護の適用も考慮しています。国が限度額引き下げをいくらに設定するかも含め、課題として受け止めています。

——約一年半後、四十歳以上の市民から介護保険料を徴収することになりますね。現状の事務体制で徴収業務は可能なのですか。

磯野さん 現行の体制だけではむずかしいと思います。当初、国は福祉制度の転換だから、いまの福祉事務所の職員を切り替えるだけでいいと……。しかし、介護保険事業を円滑に運営するには事務処理システム、職員の配置、申請窓口の設置などの整備が必要で、国の認識が変わった感じがです。

——二〇〇〇年四月に向けて、ご苦労が多いと思いますが、これまでの福祉水準を後退させない川崎方式をしっかり確立して下さい。

磯野さん 二一世紀の福祉のまち・川崎の実現に向け高橋市長を先頭に取り組んでいます。市民の方々のご意見、お知恵もうかがいながら頑張らせていただきます。

題字は高橋清・川崎市長

構成／富樫 恭子

文責／田中 圀

カメラ／山本 綾子

はりきってます グループ紹介



緊と緩の繰り返し

心と体に安らぎを

ストレス社会のなか、ヨガで心身ともにやすらぎの時を共有しようという「サルビア会」は宮崎勝代代表（56）の二十七人が、毎週水

曜の午後、宮前市民館で本来人間が持っている機能を目覚めさせる運動に励みながら、楽しく集っている。

ヨガで健康分かち合う

サルビア会（宮前区）

まず、十分間の一連のポーズで体をほぐす。そして、あお向けになり、そろえたつま先を真上へ。頭を除く全体重を肩で支え、へそ下二センチのところにある丹田に力を入れる。まっすぐ伸ばして静止。次に、つま先を前方へ下ろし、くの字のポーズへ。「苦しいのぐよ。づづにならないように。もう少しがんばって。OK、ゆっくり下ろして休んで下さい」。講師の釋迦郡泰子さんが、会員の間に回りながら声をかけ「ほら、さぼらないで」と手助けも。「手を抜くとわかっちゃうのね」と吉澤明美さん（46）。

ヨガは意識を集中させ、極限まで緊張させること、解放して休息するのがポイント。つまり、緊張と緩和の繰り返しによって、ホルモン分泌を促進、新陳代謝がよくなり、眠っている機能を呼び起こすのである。

一時間半の例会の三分の一を休息時間に充てるのも、緊張させた心身を上手に休ませるためだ。

十字架のポーズは写真は二人の体の中心を合わせ、十字に重なる。おしりを床に付ける腰のストレッチ。体をずらして肩を付ける

と肺と肩甲骨が広がり、温湿布のような効果もある。「ふー、気持ちいい」とあちらこちらでため息。スキんシップをしながら、健康体にする事ができるポーズの一つ。最後はくつろぎのポーズ。五分間のめい想で全身の力を完全に抜き、リラックスする。

同会は、高津市民館の成人学校受講者有志が昭和六十年、宮前市民館の開館をきっかけに発足した。「鮮やかに美しく咲くサルビアの花のように」と名付けられた。国分ときさん（71）は「健診で、骨密度と肺活量が四十代といわれ自信がきました」と健康体。

岡村幸子さん（55）は「毎週水曜は和気あいあいです」と笑顔。「集中力がアップして、生活にも張り」と安らぎが多くなりました。

「た」と阿部シズ子さん（60）。肩凝りがひどく、五十肩のリハビリで始めた代表の宮崎さんは「万歳ができたときはうれしかった。毎週続けると体も軽いし、肩の調子もいいです」と話す。

同代表宅は宮前区宮崎六の六の三二、☎（855）3302。

文／小誌・井上徳子
カメラ／小誌・菅原純子

仲間と楽しむ

学び

活動する

毎日の生活

はりきってます グループ紹介

聴力障害者との共生をめざす

手話サークルわかば(川崎区)

「手話サークルわかば」川崎区
英子代表(48)ら会員三十五人
は、聴力障害者との共生をめざし
て毎週火曜日の午後、福祉パルカ
わさきで学習に励んでいる。

この日は、川崎区聴力障害者協
会の吉野隆男会長を招き、聴力障
害者(ろう者)同士で使う「日本
手話」を実習した。

吉野さんも聴力障害者で、声を
出さないで手話を始める。手だけ
でなく目、ほほ、口元、指、あご、
首の上半身全体を使っての手話に、
会員は全神経を集中させる。一つ
の動作の見落としが別の意味にな
り、会話が成り立たないこともあ
る。たとえば「母親」と手話した
のに、相手が「女性」と誤解する。
聴力障害者が講演や学習の際、メ
モをとらないのは当然でこの日、
健聴者である会員も吉野さんの動
きを追うだけでメモは取らない。
笑顔でうなづく人、吉野さんの手
の動きをまねる人など、会員の反

応は微妙に異なる。

吉野さんは「これまでみなさん
は『日本語対応手話』を学んでき
ましたが、これからは、ろう者同

上半身全体で会話 メモせず目で読む



士が使っている手話を覚えて下さ
い。ろう者の間では、人を指さす
ことは当たり前ですが、そのこと
は、健聴者には抵抗があると思っ
ます」と聴力障害者の会話につい
ての理解を求めた。

熱がこもり、吉野さんの手話が
速くなると会員が「速くて分から
ない」と声を出しながら手話でク
レーム。「ごめんなさい」と笑顔

で応じる吉野さん。

その後、会員が一人ずつ前に出
て手話で話す。吉野さんの「ろう
者が使う手話」の学習。相手の目
を見て「あなたの名前は何という
のですか」の手話。「いいですね。
手の方向と位置で『あなたの名前』
とアドバイス。会員は、生きた学
習ができた喜びに笑顔がのぞく。

ふつうの例会では、瀬間正美・
川崎市聴力障害者協会婦人部委員
と小野沢美奈子・同会指導員が講
師。「ミニミニ発表会」も開き、
ろう者に伝わる手話を心掛ける。

同会は一九九四年一月、同区社
会福祉協議会の「手話入門講習会」
受講者が集まり発足した。

太田恵さん(33)は「耳の聞こ
えない人との話が楽しい」と話す。
夫が中途失聴者の石井俱子さん
(66)は「手話は表情、手の向き
が難しいのもっと勉強を」。

鳥本代表は「ろう者の気持ちも
理解する長つづきする人の入会を
歓迎します」と呼び掛ける。

代表宅は川崎区宮本町三の二。
FAX(233) 1530。

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・井上徳子

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



「工作教室①」チェロ弾き

①ミニ四駆で楽しもう
②パソコンお絵描きコンテスト◆東芝科学館①は8月10日(月)～13日(木)9時と13時。本格レートを無料開放
③写真。当日先着各150人②は8月10日(月)～13日(木)10時から5回実施。小学生の兄弟姉妹が親子各回20組。無料。申し込みは7月6日から ☎(549)2200。

オルゴール②メカニカルロボット③親子で作るソーラーカー④歩く恐竜◆東芝科学館①は7月21日(火)～24日(金)②は29日(水)～8月1日(土)③は8月3日(月)～8日(土)④は同17日(月)～22日(土)。いずれも10時と13時半(8月3日は午後のみ)。対象は①④小学中学年②高学年③親子。教材費は千～2千円。定員は各回先着40人。申し込みは7月6日から ☎(549)2200の同館。

①楽しい科学実験教室②簡楽器を作る③染色に挑戦④不思議物体スライムを作る⑤ホバークラフトに乗る⑥光の万華鏡を作る◆東芝科学館①は8月24日(月)②は25日(火)③は26日(水)④は27日(木)⑤は28日(金)⑥は29日(土)、いずれも10時と13時半(①は午前のみ)。無料。対象は小中生。各40人。申し込みは7月6日から ☎(549)2200。

「1人形劇②映画◆川崎市民プラザ」①は7月26日(日)～29日(水)10時半。45団体が公演。4日間有効の前売り券6百円あり②は8月5日(水)「ふしぎの国のアリス」▽8月29日(土)「銀河鉄道の夜」。10時と14時。無料。当日先着各5百人。 ☎(888)3131。

「ダンスパーティー◆川崎市民プラザ」9月19日(土)18時半。前売り券千8百円。 ☎(888)3131。

「夏休み理科教室①自由研究②星座早見盤を作る③押し葉標本を作る④気体を調べる⑤葉脈標本を作る⑥簡易分光器を作る⑦これが森の働き⑧有孔虫化石⑨地層◆青少年科学館」①は7月20日(月)10時②は8月6日(木)10時③は7月24日(金)31日(金)10時、全2回④は7月23日(木)13時⑤は7月24日(金)13時⑥は7月30日(木)10時⑦は7月28日(火)13時⑧は7月29日(水)10時⑨は7月30日(木)10時。無料。小学生以上。申し込みは①②7月5日③④⑦7月7日⑤⑥⑦7月8日⑧⑨7月12日9時から ☎(922)4731。

「シネマクラブ◆川崎マリエン」7月26日(日)14時。米映画「メン・イン・ブラック」。無料。当日先着3百人。 ☎(287)6009の川崎港振興協会。

①盆踊り大会②天体観望会◆川崎授産学園①は7月30日(木)17時半。雨天31日(金)②は8月29日(土)19時。月、星座を。雨天はスライド。無料。小学生以下は要保護者。当日直接。 ☎(954)5011の同園。新百合ヶ丘駅からバス。

①わら細工とぞうり②竹細工と朝顔③竹細工とセミ◆日本民家園①は8月9日(日)②は同2日(日)③は同30日(日)。いずれも10時。受講料は①7百円②③8百円。申し込みは往復はがきに住所、氏名、 ☎、講座名、受講日を記し①は7月27日②7月18日③8月17日までに〒214-1003多摩区柗形7-1-1の同園。 ☎

(922)2181。

「詩を募集・パープル賞」二連の四行詩(八行詩)形式の詩1篇(未発表、作品返却なし)。テーマ自由。募集部門は青・17才未満▽赤・17才以上。締め切りは8月31日消印有効。四千字詰め原稿用紙を使い住所、氏名、年齢、職業(学校名)を記し、〒216-1001宮前区犬蔵2の30の23高村パープルの会。 ☎(976)4573の高村さん。

「川崎合唱まつり◆多摩市民館」7月18日(土)11時半19日(日)11時。市内66の合唱団が演奏。無料。 ☎(222)8821の市文化財団。

「かわさき市美術展・作品募集」応募要項は7月下旬から各区役所・支所・出張所・市民館・図書館で配布。詳細は ☎(222)8821の市文化財団。

「シネマテークと自由という地平◆市民ミュージアム」独立プロの作品を上映。7月4日(土)①勲章Ⅱ写真②

市外局番のないものは044

学習・文化情報

学習・文化情報

探していた講座がある



4500の同館。

講座・講演



第五福竜丸▽5日(日)①夜あけ朝あけ②飼育▽11日(土)①この青春②さらば夏的光▽12日(日)①どぶ川学級②青幻記 遠い日の母は美しく▽18日(土)①化石▽19日(日)①ある子守の詩②の・ようなもの▽20日(月)①マタギ②さらば愛しき大地▽8月1日(土)①最後の女たち②日の果て▽2日(日)①二つのハーモニカ②雲ながるる果てに▽8日(土)①肉弾②原爆の子▽9日(日)①蜂の巣の子供たち②ペン偽らず 暴力の街▽15日(土)①帝銀事件・死刑囚②謀殺・下山事件▽16日(日)①松川事件。時間は①13時半②16時。料金は一般500円、小中生300円。☎(754)

【①幼児教育・保育②環境教育◆玉川大学】①が7月28日(火)29日(水)感じ合う、響き合う②が8月3日(月)4日(火)「緑の環境」がテーマで9時から。コーディネートは①関口準・同大学教授②松香光夫・同ほか。資料代込み①1万5千円②1万2千円。申し込みは☎0427(39)8895の同大学継続学習センター。玉川学園前駅下車。

講師は柴田文麿・産能短大講師ら。検定料込み約4万円、教材費は約9千円。先着50人②は9月3日から毎週木曜18時半からのコース▽9月6日から毎週日曜10時から③のコース。各全12回。対象は女性。受講料約1万4千円。入会金別。先着各30人。申し込みは①7月15日から②8月26日から☎(422)25255の同館。

【①親子点字教室②親子手話教室◆市南部身体障害者福祉会館】①は7月22日(水)23日(木)13時半から②は8月4日(火)③8日(土)10時から全5回。無料。申し込みは①7月10日②24日までに往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、☎を記して〒1010834川崎区大島1の8の6、同館。☎(244)3971。

【はじめてのデッサン&木版画◆登戸ドレスメーカー学院】7月19日(日)13時から。教材費込み千500円。先着15人。申し込みは午前中に☎(911)2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。

【①親子点字教室②親子手話教室◆市中部身体障害者福祉会館】①は7月25日②8月8日の毎週土曜13時半から、全3回。無料②は7月28日(火)③8月1日(土)10時から、全5回。教材費のみ300円。申し込みは①7月14日②18日までに往復はがきに教室名、住所、氏名、年齢、☎を記して〒21110068中原区小杉御殿町2の114、同館。☎(733)9675。

【①インターネット時代のパソコン応用②ワールドの魅力③毛筆書写(中級)◆玉川大学】①は8月19日(水)②21日(金)18時半から、全

ゆりがおか児童合唱団定期演奏会

全自由席 1,000円

8月29日(土)午後4時30分開演

麻生文化センター(新百合ヶ丘駅下車)

「11びきのネコ」「風のとうりみち」

日本の童謡、宗教曲 ほか

☆合唱——同合唱団、コール・リーリエ

☆演出・振り付け——石井かほる

☆指揮——山田榮子

☆ピアノ——西山淳子、河合由里

問い合わせ ☎(953)8116友国/☎(945)1321下川辺

学習・文化情報

ききたい音楽がある

ステージ

3回。日本語入力できる方。2万円。20人②は9月5日〜10月17日の第1・3土曜10時から、全4回。「幸福な王子」を読み童話の秘密を。講師は五味田幸夫・玉川大教授。1万2千円。30人③は9月8日から(祝日を除く)毎週火曜17時半から、全8回。2万4千円。

「劇団四季ファミリミュージカル〜エルリック・コスモスの239時間◆麻生市民館他」9月9日(水)18時半、同館▽9月11日(金)18時半、宮前市民館。S席5千円など。詳細は☎045(903)1521の劇団。

「親と子の音楽会〜菅原淳のパーカッションミュージアム◆会館とどろき」7月25日(土)11時と14時開演。6百円。先着各2百人。申し込みは7月2日(木)から☎(733)33333の同館。

「子どもミュージカル劇場〜はだしのゲン◆川崎市民プラザ」7月19日(日)16時

20人。申し込みは☎0427(39)8895の同継続学習センター。

「労働分野における規制緩和は何をもたらすか◆川崎労働センター」7月8日(水)10日(金)13日(日)16日(水)18時半から、全4回。労基法を考える。講師は島田陽一・早大教授ら。無料。先着

開演。当日先着5百人。詳細は☎(8888)3131。

「高津ジャズセレクトション◆靴ホール」7月24日(金)18時半開演。出演は水橋孝▽洗足学園短大学生バンド。全自由席3千5百円。詳細は☎(813)4805の安達さん。溝ノ口駅下車。

「①ヴィレム・ブロンズレクチャーコンサート②アカデミー室内オーケストラ演奏会◆洗足学園大学内」①は7月6日(月)18時開演。パツハの平均律他の演奏と解釈。無料②は7月10日(金)18時半開演。ヴィヴァルディ「四季」他。千円。詳細は☎(877)3211の同大演奏部。溝ノ口駅下車。

①クラシックバレエの

50人。申し込みは☎(722)0171の同館。

「パソコン研修◆市産業振興会館」7〜9月に開催の初心者から経験者、中高年齢者向け18講座の受講者を募集。受講料は1万〜7万円。問い合わせは☎(548)4119の市産業振興財団情報開発課。

集い②サマーコンサート◆サカモト・ミュージックスクール鷺沼校他」①は7月19日(日)16時、人見記念講堂(三軒茶屋駅)「ヘンゼルとグレーテル」他。無料。

☎(854)6581へ事前②は8月9日(日)14時半、同校(鷺沼駅)ブッチーニ「ラ・ボエーム」他。2千円。当日先着150人。

スポーツ

でに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎、コースを記して21310014高津区新作1の19同館・同教室係。☎(8888)3131。

「社交ダンス教室①初級者②中級者③特別1日講習会◆川崎市民プラザ」9月5日から毎土曜①10時55分②9時、全10回③9月19日(土)13時。定員は①②男女各40人③各25人。受講料は①②1万2千円③2千5百円。申し込みは①②8月12日③26日から受講料を添え来館。☎(8888)3131。

「教室①親子スポーツ②健康・体力改善③シルバースポーツ◆市体育館」①は9月22日からの毎火曜10時(除外日あり)、全10回。

3・4歳児とその保護者40組。3千円②は9月18日からの毎金曜14時半(除外日あり)、全10回。15歳以上40人。4千円③は9月16日からの毎水曜13時半と15時(除外日あり)各全10回。40人。55歳以上。1回120円。申し込みは①9月1日10時②9月4日③9月9日14時に同館で抽選。☎

第145回 川崎市民交響楽団定期演奏会

7月18日(土)午後6時30分開演

指揮／井上喜惟

幸市民館 (川崎駅からバス)

曲 ベートーヴェン「エグモント」序曲

入場料 500円 (全自由席)

目 ブ람ス「交響曲第4番 ホ短調」 ほか

■問い合わせは☎(522)6941の中西さん

●後援 川崎市、市教委 ほか

学習・文化情報

みたい絵がある

(200) 3255。

①はつらつ健康体操②
親子ピクス◆どろきアリ
ーナ①は9月17日からの

毎木曜13時半、全5回。60
歳以上。40人。2千円②は
9月17日からの毎木曜15時
半、全5回。5・6歳児と
その保護者。30組。申し込
みは①9月3日13時半②15
時半に同館で抽選。☎(7
98) 5000。

①ゲートボール入門②
はじめてのスカッシュ◆新
百合ヶ丘駅周辺①は9月
9日からの毎水曜13時半、
全10回。麻生小。15歳以上。
40人。4千円②は9月7日
からの毎水曜マ水曜マ木曜
マ金曜14時、各全10回。フ
ライツアイト新百合ヶ丘。

16歳以上。各10人。各4千
円、教材費別。申し込みは
①9月2日②同1日14時に
麻生スポーツセンターで抽
選。☎(951) 1234。

〔空手道教室◆石川記念
武道館〕9月12日からの毎
土曜18時15分、全12回。小
学生以上。30人。1回子供
50円、大人100円。申し込み
は8月30日10時、同館で抽

選。☎(544) 0493。

ギャラリー



〔宮前市民ギャラリー〕

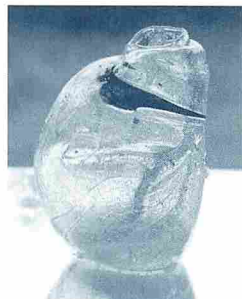
8月14日(金)〜19日(水)、犬蔵
の谷戸展。高村喜美子の油
彩Ⅱ写真Ⅲかとうまさゆき
の鳥の写真。詳細は☎(9
76) 4573の高村さん。



〔ギャラリー幸〕7月3
日(金)まで、石渡団水彩画展
▽7月10日(金)〜15日(水)、パ
リ祭展▽7月31日(金)〜8月
12日(水)、海の展。☎(55
5) 8181。

〔画廊ランプ屋〕7月8
日(水)〜13日(月)、笠井秀郎吹
きガラス展。リサイクル瓶
が生まれ変わるⅡ写真▽7
月15日(水)〜26日(日)、常設展。

☎(945) 4416。



〔アートホール新町〕7

月1日(水)〜8月30日(日)、リ
バーカレントの会合同
展。☎(344) 6444。

〔中村正義の美術館〕7
月18日(土)〜26日(日)、みるみ
るかくかく特別展。庭で絵
を描くⅡ写真。対象は小中
高生。入場料は一般500円、
学生300円、小中生200円。
☎(953) 4996。



編集後記

先日、若い
週刊誌記者A
と会った▼彼
は「犯人がす
ぐ分かる推理
小説を『おも
しろい』と薦

めるような原稿を書かされ
ている」という▼七月の参
院選の話題▼不況下の選挙
は、常識的には野党有利▼
だが「昔の名前のままの保
革二政党が勝ち、固い組織
票を持つ政党が善戦」とA
は読む▼私が「勝負は下駄
を履くまで分からない」と
言うところAは「ふん」と鼻で
笑った▼確かに、ことしも
政党の離合集散があり、政
界地図はグチャグチャ▼リ
ベラルの党首と総理経験者
の保守の人が同じ政党▼自
民と連立を組んでいた政党
が「抜ける」と一、二カ月
も言い続け、やっと抜けた
ら新聞はべた扱い▼「小異
を残して大同につく」は当
然だが「大異を捨て、公約
も捨て」では政治不信も当
然▼かつての超一流企業、
山一証券や北海道拓殖銀行
が不法行為をして潰れた▼

「社員は悪くありません。
私らが悪いのです」と謝罪
した山一の社長には「不法
行為をした」自覚があった
▼公約違反を重ねてきた政
治家にはその自覚がない▼
政治ってなくに?▼さて、
今号の「いまを話す」のゲ
ストは、市健康福祉局の磯
野利男・介護保険準備担当
主幹(課長級)▼行政の人
がゲストになるのは高橋清
市長以来だ▼小誌のインタ
ビューはゲストが何人であ
ろうと、ゴマをすらす、モ
グラたたくもしい▼読者
に、その時々々の主題につ
いて、正確で簡潔に分かりや
すく理解していただけるよ
う紙面化しているつもりだ
▼三月号の岸田孝史・緑陽
苑事務長の「介護保険法反
対」では、賛成派の視点で
聞いたことで、問題点が浮
き彫りになった、との評価
を受けた▼今号は、岸田さ
んへの反論を兼ねて登場し
ていただけのゲストをと同
局長寿社会部にお願した
ところ、磯野主幹を選んで
下さった▼今号と三月号の
併読をお願いする(田)。

かわさき市民アカデミー 聴講生の講座一覧

- ◆期間は10～来年2月、各講座14回（No.16は7回、No.21は10回）
- ◆時間は開始時間で1回の講座時間は1時間20分。No.7は4時間、No.10・20は2時間、No.21は3時間（3ページに関連記事）

No.	講座名	講師	曜	時間	会場
1	スポーツ文化人類学	寒川恒夫・早稲田大教授他	月	9:20	川崎 労働センター (武蔵小杉)
2	めぐる時・流れる時	小林康正・京都文教大講師	月	11:00	
3	憲法改正論議を前に	古関彰一・獨協大教授	月	9:20	
4	ラジカル・デモクラシーの動向	千葉真・国際基督教大教授	月	11:00	
5	シャーロックホームズの世界	小林司・元上智大教授他	火	10:30	野外で
6	海外旅行入門	牟田口義郎・元朝日新聞特派員他	火	10:30	
7	川崎の自然観察～秋冬編	斎藤博・国立公園指導員	火	10:00	
8	パウル・クレー論	西田秀穂・東北大名誉教授	水	10:40	新百合21ビル
9	日常のことばをみ直す	江藤文夫・成蹊大名誉教授	水	10:30	川崎 労働センター
10	川崎市域の歴史的形成	村上直・法政大名誉教授他	水	13:00	
11	長唄を聞いてみよう	竹内道敬・放送大学客員教授	木	10:30	
12	危機・災害の科学	木村龍治・東京大海洋研教授他	木	10:30	
13	日本近代史の結節点	坂野潤治・千葉大教授	木	10:30	
14	NPOの活動と市民社会	伊藤裕夫・電通総研研究主任他	金	9:20	
15	東アジアと経済・環境・文化	金子文夫・横浜市立大教授他	金	11:00	
16	生活福祉の展開	一番ヶ瀬康子・長崎純心大教授他	金	9:20	
17	高齢者の福祉と介護	篠原一・東京大名誉教授他	金	13:20	
18	居住福祉を考える	小川信子・北海道女子大教授他	金	13:20	
19	みどりのまちづくり	望月南穂氏(地域社会立案者)他	金	10:30	新百合21ビル
20	川崎の将来と政策を考える	市総合企画局都市政策部職員他	土	10:00	川崎 労働センター
21	参加のまちづくり実践塾	川崎地方自治研究センター職員	土	13:00	

◆講座名は変更することがあります。

●発行

電話 044(952)5000代
(財)川崎市生涯学習振興事業団

FAX 044(952)1350
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
編集人・田中 園